

ユニット型枠を提案

新世代P Ca工業会

壁高欄の急速施工

新世代P Ca工業会(会長 篠田佳男氏)は5月18日、日本コンクリート技術(東京都)で平成27年度第3回WG(ワーキンググループ)会議を開催した。

同工業会ではRC構造物の省人化・省力化・急速施工・耐久性向上の観点からステンレス(SUS)鉄筋を利用したプレキャスト製品の技術開発に取り組んでいる。

現在は実用化段階に入った高耐



色ムラ・ひび割れ対策、壁高欄の急速施工に関する課題抽出、壁高欄試験施工の日程などについて検討した。

冒頭挨拶した篠田会長は「当工業会も設立から11年目を迎え、新たなメンバーも迎えることができた。今日は引き続きSDPフォーラムの実用化に向けた、しっかりとした議論をお願いしたい。壁高欄へのSDPフォーラムの適用では、試験施工を東京セメント工業で実施することとしている。試験施工の実施に向けて、問題点や課題についても整理

しておきたい。SDPフォーラムの実用化は省力化施工にも大きく寄与すると思う。是非、皆さんの協力をお願いしたい」と述べた。

●SDPフォーラムの色ムラ・ひび割れ対策
検討課題となっていたSDPフォーラムの色ムラ・ひび割れ対策に関しては、事前に会員各社から改善案A、改善案B、改善案Cの提案がなされた。

WG会議では東栄コンクリート工業が改善案を反映したSDPフォーラムのサンプル3種類を作成し、これらについて意見交換を行った。今回の試作からセメント系高耐久性埋設型枠の課題がほぼ解決できる見通しを得たことから、試験施工時に大型パネルを製作して成果等を確認することになった。

●試験施工日程について
WG会議ではSDPフォーラムの実用化推進へ向けて、新提案に基づき発注者・施工業者を交えた大規模な試験施工を8月中旬までに実施することを確認。

また試験施工のWGとして、東京セメント工業(東京)、ヤマウ(福岡県)、東栄コンクリート工業(山形県)、日本コンクリート技術の4社及びSUS鉄筋供給の愛知製鋼(愛知県)と愛鋼(愛知県)を選定した。試験施工の手順や方法等について今後検討を進めることになった。

WG会議ではこのほか、永井コンクリート工業(新潟県)を中心に東京セメント工業(東京都)とランデス(岡山県)が新世代P Ca工業会(会長 篠田佳男氏)のWG方式で研究・開発を進めてきた防風板について、実用化第1号として新潟県長岡振興局で正式採用が報告された。